



学校だより

7月号
横浜市立桜台小学校
令和6年6月28日発行



HPはこちらから

コミュニケーションの力を育てる

校長 中村 真弓

梅雨入り前の初夏の陽気のもと、6月8日に土曜参観を行いました。たくさんの保護者の皆様や地域の皆様にご来校いただき、子どもたちの学校での様子を参観していただきました。ありがとうございました。コロナ下では参観いただける人数に制限がありましたが、特に制限がなくなり、教室の中がっぴいで廊下からの参観になってしまった方も多かったのではないのでしょうか。

コロナ以前の教室では、「隣の人に自分の考えを伝えましょう」「隣の人と相談しましょう」「グループで発表して聞き合いましょう」など、子どもたち同士での交流が当たり前の光景でした。その光景が昨年から戻ってきましたが、子どもたちが自分の思いや気持ちを伝え、それを受け止めて聞き、考えや思いが違えば折り合いを付ける、そんなコミュニケーションの力はまだ学年相応なところまでは戻ってきていないような気がします。まだ人間関係初心者マークの子どもも多くいるという実感です。

「相手の表情がよく分からなくてどう思っているのか分からない」「こんなこと言ってしまって大丈夫かな?」「自分に対して冷たいように感じるけれど怒っているのかな?」「ぶつかったけどわざとじゃないから謝らなくてもいいよね」「声をかけたけれど返事が返ってこないのは無視されているのかな?」など、大人から見れば少しのことで友だちとすれ違ったような思いになっていないのでしょうか。昨年から少しずつ戻ってきましたが、3年間密を避けたりずっとマスクを着けたりしていたことの影響は大きかったと思います。友達との距離感がつかめなかったり、同じクラスで過ごしているのによく知らないまま1年すぎてしまったり、仲がよいつもりでも顔もよく知らないままだったりしたこともあったのではないのでしょうか。

お子さんに友達とトラブルがあった時に、保護者の方から見れば些細なことと思われるかもしれませんが、丁寧に事情を聞き取って学年を中心にした職員で対応しています。重篤な「いじめ」が起こることを未然に防止し、今後人間関係を上手に作れるようになって欲しいという願いからの支援です。コミュニケーションの力を育て、トラブルがあっても自分の力で解決できるように学校でも見守っていきませんが、ご家庭でも子どもたちのことを温かく見守り、一緒に考えたり励ましたりしていただければと思います。コミュニケーションがうまく取れることが子どもたちの自信と成長へつながることを願っています。

6月11日にいつも登下校を見守ってくださる学援隊の皆様をお招きし、お顔を覚え、感謝の気持ちを表す朝会を行いました。暑い日も寒い日も雨や風の日も毎日登下校の見守りを行ってくださっています。保護者の皆様の中にも登下校の見守りをしてくださっている方がたくさんいらっしゃいます。事故なく安全に登下校できているのも、皆様のおかげです。本当にありがとうございます。挨拶や「いつもありがとうございます」の言葉が自然に交わされることを願っています。今後ともよろしく願いいたします。